学校番号	２０６

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	文学国語（大修館書店）						
副教材等	『重要頻出漢字リアルマスター3300』（尚文出版）、『１日１講 文学』（三省堂）、『１日１講 現代文評論②』（三省堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語力は、あらゆる論理的思考の基に位置すべき重要な骨格である。 単純な意思疎通のみに終始した生徒たちの柔弱な言語環境を生徒自らが主体的に脱し、真に気持ちの通い合うコミュニケーションの成立をめざせるよう美しい日本語を手本として、より高次の読解力・表現力を養うべく、教科書を中心とした授業を実施する。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	小説1 ［教材］山月記	a:・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 c:・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	・定期考査	・定期考査	・提出物 ・小テスト ・授業態度
	随筆・評論1 ［教材］「十八歳の選択」	a:・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	・定期考査	・定期考査	・提出物 ・小テスト ・授業態度
	韻文1 ［教材］詩歌　永訣の朝	a:・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:・語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 ・作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ［書］自分の体験を短歌で表現する。 c:・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	・定期考査	・定期考査	・提出物 ・小テスト ・授業態度
2	小説2 ［教材］こころ	a:文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	・定期考査	・定期考査	・提出物 ・小テスト ・授業態度

		b[読]:文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 [読]これまで学んできた表現などを活用し、読み手を意識して文章を書こうとしている。 c:登場人物の境遇や、それぞれの人物関係をおさえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。			
	随筆・評論2 [教材]教科書「私の日本住居論」	a:・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:作者のものの見方をとおして、日本の言語文化の特徴について考えを深めようとしている。〃	・定期考査	・定期考査	・提出物 ・小テスト ・授業態度
3	小説3 [教材]山椒魚	a:・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 c:・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	・定期考査	・定期考査	・提出物 ・小テスト ・授業態度
	韻文Ⅱ [教材]詩歌　きみの呼びかけに	a:・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:・語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 ・作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 [書]自分の体験を短歌で表現する。 c:・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	・定期考査	・定期考査	・提出物 ・小テスト ・授業態度

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　…　（　　１５　　）時間

・読むこと　…　（　　５５　　）時間